

# 平成26年7月：第389回 大野市議会定例会

一般質問

7月22日（火） 午前

| 質問者       | 質問概要  |
|-----------|---|
| 松原（新生おおの） | <b>1 大野市の産業発展について</b><br>○企業誘致について<br>（株）タニコー、ファーストウッド、福井グリーンパワーなど企業誘致が実を結んでいるが、企業を誘致するとき、地元との関係をどのように考えているか。<br>○産業技術の向上について<br>商業、工業などの技術向上指導は、大野市ではどのようになっているのか。商工会議所との関係はどうか。<br>○農産物生産について<br>農業を営むということは、農産物を生産することから始まると考えるが、大野市は主産業である農業の中心となる方針があるのか。<br>○森林の整備、河川の環境整備について<br>・森林を整備するとき、森林所有者台帳が必要だと思うが、整備されているか。<br>・河川の環境整備の必要性、意識啓蒙はどのようにしているか。 |
|           | <b>2 学校の役割、家庭の役割、地域の役割について</b><br>○子ども達の成長を助けるための学校、家庭、地域の役割が明確でないように感じる。<br>明確にするべきではないかと考えるが、教育委員会の考えは。<br>○「連休の過ごし方についてのお願い」について<br>この通知を見て、大野、特に富田小学校については先生方のあたたかい教育心が伝わり感謝申し上げます。ただ、この通知文を保護者全員が読んでいるかどうか不安である。全員が読む方策を。  |
|           | <b>3 七間朝市について</b><br>○過去にも市議会一般質問で質問されているが、大野市として七間朝市を残したいのか、朝市は一般的商取引であるから自然に任せておくのか、明確な答えを願う。   |

| 質問者   | 質問概要   |
|---|--|
| 松田（新風おおの）   | <b>1 第五次総合計画「越前おおの元気プラン」の検証について</b>  |
|   | <p>○第五次大野市総合計画の目標ふれあい人口について、岡田市長も予想以上に人口が減少していると発言しておられるが、なぜ予想以上に人口が減少しているのか。</p> <p>○前期基本計画越前おおの元気プラン最終年のふれあい交流人口は何人か。またその根拠は何か。</p> <p>○全国知事会議で「人口減少非常事態宣言」を出すことを決め、また安倍政権も「地方創生本部」を設けるなど全国的に危機感を持ち始めているが、大野市は人口減少非常事態宣言などは考えないのか。</p> |
|   | <b>2 越前おおのブランド戦略について</b>   |
|   | <p>○越前おおのブランド戦略の成果指標として、なぜブランド総合研究所の地域ブランド調査順位を用いたのか。この他の成果指標は考えないのか。</p> <p>○地域ブランド調査順位の目標値を、地域ブランド調査による認知度では平成24年度の815位から平成29年度には200位に、また魅力度では790位から400位以内とするとしているが、その根拠は何か。</p>   |
|   | <b>3 越前おおのまるごと道の駅ビジョンについて</b>  |
| <p>○平成24年2月に報告された当ビジョンは、市民力と地域力で力強い元気なおおのを絵で表現し、素晴らしい夢を頂いたと評価しているが、その後どのように具体化し、現在どのようになっているのか。</p> <p>○2年余り経過した現在、様々な魅力を具体的に表現し、進化した道の駅構想を創り、市民の皆さんと共有すべきと考えるが、どのように考えるのか。</p> |  |
| <b>4 結の故郷づくり交付金事業について</b>   |  |
| <p>○三年間の「越前おおの地域づくり交付金事業」に引き続き、平成25年度から「結の故郷づくり交付金事業」を展開し現在進行中であるが、今までの取り組みから市民力や地域力の視点とその魅力度についてどのように評価するか。</p> <p>○越前おおのまるごと道の駅構想との関連をどのように考えるか。</p>                          |  |

| 質問者   | 質問概要  |
|---|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">浦井<br/>(日本共産党・大野市議団)</p> | <p><b>1 市長は集団的自衛権行使に反対を</b></p> <p>○憲法前文及び99条の公務員の憲法擁護義務など、憲法は政府をしぼるものだと認識はどうか。</p> <p>○集団的自衛権行使容認の本質は、日本が戦争に加わり、自衛隊員が殺りくに関与する可能性があるということ。市長は市民の血を流させないため、反対の声を上げるべきではないか。</p> <p>○自衛隊募集協力を市は見直すべきではないか。</p>  |
|   | <p><b>2 医療・介護統合法は介護サービスの切り捨てになるのでは</b></p> <p>○要支援1、2の人のサービスは縮小、後退するが、見直しの影響予測はどうか。受け皿が整備されるか。</p> <p>○特養の入所制限で、入れない人の対策はどうか。</p> <p>○利用料2割負担の市の対象者は何人か。2倍の負担に耐えられるか。</p> <p>○補足給付の見直しの範囲及び市の対象者は。低所得者の入所制限になるのでは。</p>  |
|   | <p><b>3 住宅リフォーム事業の拡充を</b></p> <p>○使い勝手のよい制度にすべきではないか。</p>   |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">高岡<br/>(双葉会)</p>         | <p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p> <p>○合併特例が、延長されたということは、地方公共団体の財政が改善されていないからとも伺えるが、当市の財政改革の現状と、目標はいかがなものか。</p> <p>○平成25年度には、日本全体で24万人あまりの人口減少とのこと。当然当市でも例外なく人口減少は、顕著な数字で表されていますし高齢化も進んでいるが、この人口減少とその施策はどうか。</p> <p>○当市は街づくりを積極的に推し進めているが、今後のまちづくりについてどのように考えているのか、その施策はどうなのか。</p> <p>○中部縦貫道永平寺大野道路がまもなく開通しようとしていると同時に大野東から白鳥までの工事が着々と進んでいるが、インター周辺土地利用や開通後の当市の対応についてはどうなのか。</p> |

| 質問者       | 質問概要   |
|-----------|--|
| 兼井（新生おのの） | <p><b>1 地域経済が活性化する仕組みづくりについて「中小企業振興基本条例」</b></p> <p>○少子化・高齢化が進行する中、市内中小・小規模事業者の振興についての考えは。</p> <p>○事業者、市民、経済団体等、行政が中小企業の役割と重要性について共通認識を持ち、それぞれの役割について理解し、市全体で地域循環型経済の構築を図る為に「中小企業振興基本条例」の制定に取り組むべきではないか。</p>   |
|           | <p><b>2 10～20年先のマーケティング戦略について</b></p> <p>○今夏の観光入り込み客数はどのような傾向になると考えているか。</p> <p>○北陸新幹線開通に向け北陸の各地域で様々な取り組みが行われているが、福井県内・北陸・東京～大阪の観光ゴールデンルートの中での今後の大野市のポジションについてどう考えているか。</p> <p>○全国の新幹線沿線自治体では開通によって「素通り」への危機感が高まり、様々な取り組みが行われているが、中部縦貫自動車道の整備進捗状況が報道される度、大野市の「素通り」や「ストロー現象」に対する危機感をよく聞くが、対策は。</p> <p>○中部縦貫自動車道の整備が進むことで、中京方面からは日帰り圏内になると考えるが、それについての対策は。</p> <p>○訪日外国人が、初めて1千万人を超えた昨年のペースを上回っていると聞くが、外国人誘客に対する大野市、広域連携での取り組み状況はどうか。</p>                                |
|           | <p><b>3 子ども達の教育環境について</b></p> <p>○経済的に困窮する家庭に学用品代など補助する「就学援助制度」の支給対象者の割合が増加している。要因として平成22年から父子家庭も対象に含まれたこともあるが、今後の推移はどう考えているか。また、増加させないための取り組みがあるのか。</p> <p>○この制度を利用した家庭の子どもたちの中学卒業後の進路は、どのような状況か。</p> <p>○文部科学省の調査では、学力テストの結果や卒業後の進路に、親の年収が影響するとの結果が報道されている。経済格差や地域格差を解消するために、大野市出身の大学生や企業で活躍された方々に、インターネット上での講師をお願いし、柔軟な発想力を持ち、海外の労働力やロボットに代替えされない人材を育てる仕組みを教育委員会が中心になってつくるべきだと考えるがどうか。</p> <p>○教育現場でのICT活用についての考えは。また、生徒1人1台のタブレットを配備・運用するには、どのくらいのコストが必要と考えるか。</p> |

○市内の小中学校運営にかかる児童生徒一人当たりの予算は。

#### 4 将来消滅する自治体について

○県内市町別将来推計人口（日本創世会議）は2010年と比較して2040年には20～30代の女性が半数以下に減るとして、大野市は減少率62.8%、3,170人から1,181人へ減少すると発表した。これまでの少子化対策に対する評価と今後の取り組みは。

○働く場や教育機関が首都圏に集中しているため、若者が能力を大都市で試したいと思うのは当然。その人口流出を止めるのは難しい。そこで大都市で教育や技能を身に付けた若者が戻って能力を活かせる環境を地方に整えることが大切と考える。若者が多様な働き方が出来るようにしなければいけないと考えるが、市の考え、取り組み状況は。

○行政への住民参加の一つの手法であり、多用されている審議会等の制度だが、そのメンバー構成の傾向は。

○今後、全ての審議会等に戦略的に20～30代女性枠と男性枠を増やすべきではないか。そして「行政対住民」から「住民対住民」で議論する仕組みを作るべきだと考えるがどうか。

| 質問者           | 質問概要   |
|---------------|--|
| 宮澤<br>（新生おおの） | <p><b>1 市長の市政に対する考え方について</b></p> <p>○3期目の当選が無投票での当選。この無投票についてどのように考えているのか。</p> <p>○女性のパワー導入について<br/>女性職員はもちろん、一般市民の女性からのアイデア等を市政に導入すべきと考える<br/>がいかがか。</p> <p>○例年行われている「大野市消防総合訓練」、4月8日の日を市長という立場から<br/>どのように考えるのか。</p>   |
|               | <p><b>2 高齢者対策について</b></p> <p>○訪問診療ニーズに応じることができているのか。また、介護サービスについて広範囲<br/>ではあるが、一人又は二人暮らしの高齢者対策はどうか。</p> <p>○バリアフリー化について、進捗（しんちよく）状況と今後の対応はどうか。</p> <p>○認知症前段階対策の取り組みについて<br/>前段階とされる方々や家族の対応策をどのように考えるのか。</p>  |
|               | <p><b>3 産業について</b></p> <p>○農業について<br/>政府の農業に対する改革等についてどのように考え対策を講じるのか。</p> <p>○湧水を守る対策を産業の関連からどのように考えるのか。</p>  |
| 石塚<br>（新風おおの） | <p><b>1 学校教育について</b></p> <p>○土曜日授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国や都道府県教委から、土曜授業の実施に関してどのような指示や通知があったの<br/>か。</li> <li>・土曜授業の実施について、今後、どのように取り組んでいくのか。</li> <li>・文科省の「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」の<br/>活用も含め、地域の豊富な人材を生かして、子どもたちが、豊かで、有意義な土曜<br/>日を過ごせるような取り組みについては。</li> <li>・分からないところや苦手部分をサポートする地域の教育力を活用した「公営塾」の<br/>開設については。</li> </ul> <p>○インターネットを活用した授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の導入状況と今後の予定は。</li> <li>・子どもたちにタブレット端末を導入し、電子黒板等ITツールとの連携による新た</li> </ul> |

な授業は。

## 2 自転車の安全対策について

○自転車マナーの向上対策等について

- ・市民の自転車の利用状況や、自転車事故の実態をどのように把握し、どのように分析しているのか。
- ・自転車の交通ルールの遵守や、市民の自転車運転マナーをどのように認識しているのか。

○自転車運転免許証の、交付制度は。

○自転車の安全整備の促進は。

○自転車の安全な利用の促進に関する条例を制定しては。

## 3 認知症支援について

○認知症への取り組みの現状と課題は。

○認知症サポーターについて

- ・本市の認知症サポーターの人数並びに性別、年代、職業などは。
- ・サポーター養成講座の開催状況と、人数の推移は。
- ・企業など職域に対して、認知症サポーター養成の働きかけや、支援は。

○市民への認知症の普及・啓発と、地域の中での支援のネットワークづくりのために、民間の商店や事業所等に対する、認定制度を創設しては。

○認知症の早期発見につながる「タッチパネル方式」の検査の取り入れは。

| 質問者   | 質問概要   |
|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">榮（日本共産党・大野市議団）</p> | <p><b>1 集落カルテの結果から見えてくる大野農業の課題は</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○後継者の問題</li> <li>○中山間地農林業の将来方向</li> <li>○集落機能の維持</li> </ul>   |
|   | <p><b>2 平成の湯改築と条例改正（あっ宝んどを含む）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○設計変更について、どのような問題があり設計変更したのか。</li> <li>○議会に設計変更の報告をしない、その理由は。</li> <li>○雪・除雪・雪囲い・排雪、玄関・露天風呂の落雪、露天風呂の落雪除雪は。</li> <li>○フレール和泉と平成の湯が共有している水の、不足の原因とその対策は。</li> <li>○住民の要望や、スキー客の要望の高い軽食場所の設置をしない経緯とその考え方は。</li> <li>○温泉水の供給施設（以前からあったもの）を確保する要望については。</li> <li>○条例の改訂により使用料金がいきなり引き上げられ他市町村との比較でも一番高い使用料金になぜするのか。</li> </ul> |
|   | <p><b>3 平成24年（行ウ）第2号 損害賠償請求事件第1審判決について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1審判決を理事者はどのように受け止めているか。</li> </ul>   |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">梅林（新風おおの）</p>      | <p><b>1 市長就任3期目の指針について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口問題と将来的な財政負担についてどのように対応していくのか。</li> <li>○水環境基本法等が成立し、いよいよフォローアップ委員会において個別法等の作業が始まるが、大野市の水環境保全のために、どのような提案、要望等が必要と考えるか。</li> <li>○農地転用の許可権限を市町村に移譲するよう求める提言がまとめられた。市長の見解は。</li> <li>○3期任期中に更新期をむかえる真名川水利権の目標は。</li> </ul>   |
|   | <p><b>2 女性や子どもに優しい町づくりについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大野市結の故郷奨学金基金設置に係る、資格対象者、月額、人数、返済方法等をどのように考えているのか。</li> <li>○子ども・子育て支援計画策定に向けてのアンケート調査結果から見えてきた大野市の課題は。</li> <li>○結レディスデーなど、女性に特化した市独自のサービスや、支援に繋がられるような取り組みが求められると考えるが。</li> </ul>  |

### 3 6次行政改革について

- 公共施設再編計画による文化会館施設に関するアンケート調査の結果は。
- 市民参画による委員会、審議会等の設置状況は。（目的、効果、根拠、委員の人数の基準等）